

待機児童解消へ受け皿整備を



法政大の小黒一正教授
「これまでの社会保障制度

は高齢世代や
生活保護世帯
を中心に想定
しており、次

世代の成長を担う若者世代
も含め、全世代に配慮す
る『人づくり革命』は方向
性としては間違っていない。
ただ、子育て支援では幼

児教育無償化などより待機
児童解消の方が急務だ。保
育の全入を目指し、保育士
の確保や保育の受け皿整備
の加速が求められる。高等
教育も無償化より、出世払
い方式の『所得連動型奨学
金』などを拡充する方がい
い。社会人になれば返済は
おおむね可能で、負担と受
益を一致させる観点も含め
財政的に望ましい」